

地域	山梨県 富士吉田市	認定日	平成24年2月3日	通巻番号	3 - 23 - 115
----	-----------	-----	-----------	------	--------------

③新たな作目や品種の特徴を活かした需要拡大

有機農法による「赤大豆」を用いた土産品開発・販売

安全・安心で健康志向に配慮し、希少品種である「赤大豆」を活用した土産品の製造・販売を行う。

➤ 連携体

農林漁業者 (農)鳴沢ファーマーズクラブ (農業)

耕作放棄地や休耕地等を活用して有機農法による赤大豆を栽培し、安心・安全で消費者の健康ニーズにマッチした赤大豆を安定的に供給する。

中小企業者 山一産業(株) (物品賃貸業)

安全・安心で健康志向に配慮した植物由来のアントシアニン成分を含有した「赤大豆」を用いた差別化した土産品を開発・販売する。

連携参加者 NPO法人まめのえん

赤大豆栽培のノウハウの提供と栽培支援や農作物の有機・無農薬栽培の普及拡大を支援する。

サポート機関等 都留信用組合、(独)中小企業基盤整備機構関東支部

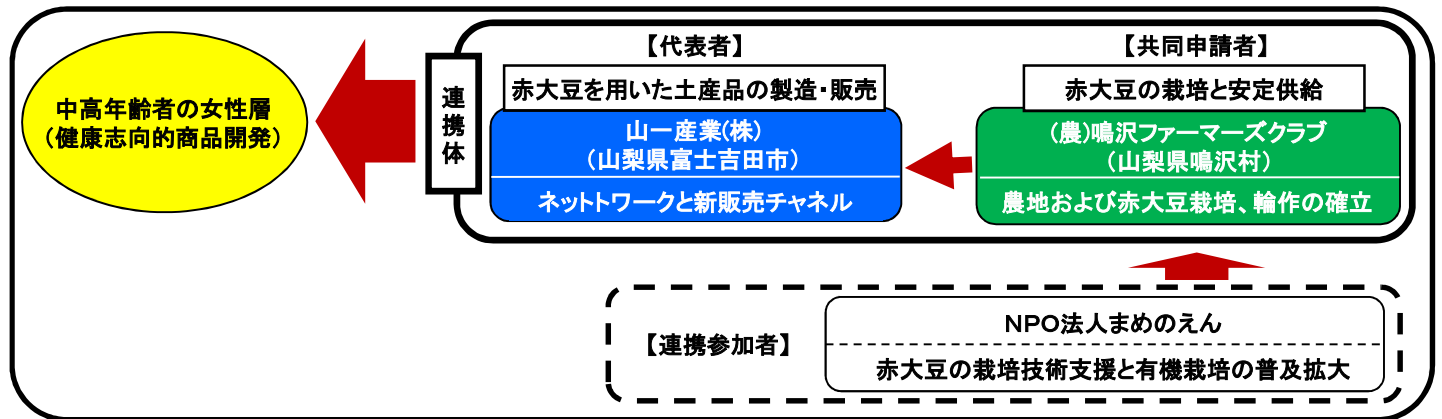
➤ 連携の経緯

オリジナル性の高い地域の土産品販売の事業展開を図るため、主材料となる赤大豆の地元調達を推進していた山一産業(株)は、農商工連携体構築支援事業を通じた連携者である(農)鳴沢ファーマーズクラブによる赤大豆の栽培実績と輪作体系による農家の収入アップを計画していた思いが合致し、連携に至った。



➤ 連携に当たっての課題や工夫等

これまで赤大豆は山梨県内では栽培実績がなかった。このため山一産業(株)は赤大豆の栽培実績のある(農)鳴沢ファーマーズクラブに栽培を依頼し、NPO法人まめのえんの栽培技術支援を通じて輪作穀物として農家への栽培支援に取り組む。また、山一産業(株)は同社が有する人的ネットワークを用いて健康志向に配慮した植物由来の成分を含有した「赤大豆」によるオリジナル性の高い土産品開発と販路開拓を図る。



➤ 連携による効果

農林漁業者 3年で540万円の売上高増加、耕作放棄地・輪作地等約2haの有効利用

耕作放棄地等の農地化が図られるだけでなく、農家の輪作による農業経営の安定に貢献すると期待される。

中小企業者 3年で1,560万円の売上高増加、収益性の改善

安全・安心で健康志向に配慮した土産品の事業展開を図ることにより売上の増加と収益性の改善が期待される。

➤ 代表企業等の連絡先

企業等名 : 山一産業株式会社
TEL : 0555-22-3085
E-mail : yamaichi@axel.ocn.ne.jp

所在地 : 山梨県富士吉田市上暮地2-4-10
FAX : 0555-22-3085
ホームページ :